

# まちづくりへのおもい



## 新しいわがまちの自治をめざして

——「自立するまち」をつくるために

「自立するまち」をつくる ——それは、一人ひとりが木曾岬町のことを考え、自分たちで決定し、できることは自分たちで行うということです。同時に、町民のおもいにあったことを重点的に取り組む「メリハリのある行政」が必要です。

当面、ひとつのまちとしてあゆむことを選んだ今こそ、木曾岬町に住みたいと思われるまちづくりを進め、積極的に人口増加を図り、住民自治などを活発化させることが求められています。そして、行財政改革とともに、特色を生かし、地域に根ざしたきめ細かなまちづくりを進める自治体として、「新しいまち」をめざすことが大切です。

## まちづくりのなかで大切にしたいもの ——「調和」と「交流」

町民自身でルールや基準を決めて、まちの調和を生みだそう

「便利さ」と「田園環境」との調和など、いくつかの性格が調和しているすがたこそが木曾岬町らしさです。調和を保つためには「ルール」や「基準」が必要となり、それらを決めるのは町民であるべきです。



町民どうしの交流から、コミュニティを活気づけよう

いろいろな価値観があるなかで、「高齢者」と「若者」との世代間交流など、さまざまな交流活動が、まちの活性化には欠かせません。町民と行政とが同じ認識をもち、互いに信頼して役割分担することも、「協働のまちづくり」には不可欠です。



## 総合計画のあらまし —— 総合計画は町の最上位計画です

